

「ESD 推進校としての成果」

梅のつぼみも膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本校は今年度も「横浜市 SDGs 達成の担い手育成 (ESD) 推進校」として活動しており、1月27日、その成果を交流する「横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会」に5年生の有志14名が学校代表として参加してきました。この報告会は、ESD 推進校が今年度の学習活動の発表を行い、自分たちの活動を振り返ると共に、他校の活動やSDGsについて多様な考え方を知ることがを目的に開催されています。また、意見交流を通して、地域・企業・NPOなどの他の人と一緒に取り組むことの良さを感じ、これからの活動や自分の行動について考えるきっかけになることも期待されています。小学校だけでなく、中学校、高等学校も参加しました。

初めに行われたポスターセッションでは、前半チームは自分たちの発表を行い、後半チームは他校の発表を聞きに行きます。本校は「オリジナルゆるスポーツ」と「1・2年生向けすごろくの商品開発」を発表しました。参加した14名全員が発表練習の成果を存分に発揮し、堂々と発表することができました。他校の先生からは、事前の準備はもちろんのこと、質問に対して自分の考えを答えられる姿が素晴らしいと褒めていただきました。

次に、他校の小学生や中学生、高校生と5～7名のグループになりワークショップを行いました。中高生がファシリテーターになり、今までの活動の成果や課題を振り返り、感想や今後どんなことができそうか意見交流を行いました。自分の意見を分かりやすく伝える子、メモをとりながら真剣に聞く子、出された意見を模造紙に書く役割を自ら志願した子など、その積極的な姿勢と自分の力を惜しみなく発揮しようとする姿勢に感心しました。会場にいた先生方、保護者の方々も同じように次世代を担う子どもたちに希望を感じたことと思います。

そして、最後に全体を通した感想発表では、本校の児童が「活動の中でも、何かを決めるときに折り合いをつけながら意見をまとめることが難しかったのですが、他校の人も同じように難しかったと言っているのを聞いて、困ったのは自分だけではないと気付きました。」と発表しました。とてもよい気付きだと思いました。世の中で起きている解決しなければならない問題は、答えが見つからないことが多く、他者と協力して様々な意見をまとめてよりよい解決方法を見出さなくてはならないことばかりです。解決のために意見をまとめることは誰にとっても本当に難しいことだと気づき、それでも使命感をもち力強く前に進もうとする姿はとても頼もしかったです。ESD は持続可能な社会の創り手を育む教育です。今後も他者と協働しながら課題を解決する経験を積み重ね、様々な難題に立ち向かえる強さやしなやかさを育んでいきたいと思っています。

2月を迎え、まとめの時期になります。学校では一人ひとりが自分の成長を実感できるように振り返りを行います。例えば、「みんなで一つのことに取り組んで、一人では味わえない喜びを感じた。」「自分から進んで話せるようになったら、友達が増えた。」など、自分の頑張りが自分のどんな成長へつながったのか気付けるような声掛けをします。ぜひご家庭でもお子さんが進級進学に向けて希望をもって進むことができるよう、勉強でも習い事でも、お手伝いでも、頑張っている姿勢を認め、その頑張りが自分のどんな成長につながったのか声掛けをしてください。認められているという安心感や成長への自信が次の目標に向かうエネルギーになることを信じて、学校も子どもたちを応援し続けます。